



KONICA MINOLTA

Font Management Utility

ユーザーズガイド

目次

本製品について	ii
登録商標および商標	ii

1 はじめに

1.1 動作環境	1-1
1.2 主な機能	1-2

2 Font Management Utility のインストール

2.1 インストール方法	2-1
インストール手順	2-1
2.2 アンインストール方法	2-2
アンインストール手順	2-2

3 Font Management Utility の使いかた

3.1 起動方法	3-1
起動手順	3-1
3.2 終了方法	3-2
終了手順	3-2
3.3 装置の登録	3-2
3.4 フォント / フォームの追加 / 削除	3-3
追加手順	3-3
削除手順	3-6
3.5 フォント / フォームの一括追加モード	3-8
一括追加の手順	3-8
3.6 一括削除モード	3-12
一括削除の手順	3-12
3.7 フォント / フォーム一覧設定ファイル	3-16
フォント / フォームのエクスポート (追加 / 削除モードの場合)	3-16
フォント / フォームのエクスポート (一括追加モードの場合)	3-19
3.8 一覧のファイル保存	3-21
保存手順	3-21

本製品について

Font Management Utility は、Device Set-Up のプラグインとして、ネットワーク上の対応装置（複合機）にフォントやオーバーレイ印刷用のフォームを追加、削除するためのユーティリティーです。

追加したフォント、フォームは、Font Management Utility で一覧表示できます。

登録商標および商標

商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

画面について



ワンポイント

装置や設定および使用するコンピューターによって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。



ご注意

本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは、固くお断りします。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

Copyright © 2005 KONICA MINOLTA, INC. All rights reserved.

1 はじめに

1.1 動作環境

Font Management Utility の動作環境は以下のとおりです。

対応 OS	Windows Vista Enterprise (SP2 以降) * Windows Vista Business (SP2 以降) * Windows Vista Ultimate (SP2 以降) * Windows 7 Enterprise (SP1 以降) * Windows 7 Professional (SP1 以降) * Windows 7 Ultimate (SP1 以降) * Windows 8.1 Pro * Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。	
ハードディスク 空き容量	200 MB 以上 (インストール時)	
対応フォント/ フォーム	PCL フォント	PCL 5 準拠フォントデータ
	PCL フォーム	PCL 5 準拠フォームデータ
	PostScript フォント	PostScript Type 1 フォント (PFA 形式または PFB 形式)
	PostScript フォーム	PS 形式または EPS 形式
	OOXML フォント	TrueType フォント形式または OpenType フォント形式
その他	Microsoft .NET Framework: 以下のバージョンが両方とも必要です。 ・ .NET Framework 3.5 (SP1 以降) ・ .NET Framework 4.5 以降 * Windows 8.1、Windows 10 をお使いの場合は、以下の手順に従って、.NET Framework 3.5 を別途インストールしてください。 1. [コントロールパネル] を開き、[プログラム] - [プログラムと機能] - [Windows の機能の有効化または無効化] をクリックします。 2. 「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」にチェックを付け、[OK] をクリックします。 3. OS の指示に従ってインストールを完了します。	

最新の動作環境については Readme を参照してください。

1.2 主な機能

Font Management Utility の主な機能は以下のとおりです。

- 対応複合機へのフォント、フォームの追加と削除
- 追加したフォント、フォームの情報の一覧表示
- フォント / フォーム設定ファイルの保存
- フォント / フォーム一覧のファイル（CSV ファイル）保存
- ネットワーク上の対応複合機の自動検出
- ネットワーク上の対応複合機への手動接続



ワンポイント

以下の機能については、Device Set-Up ユーザーズガイドをご覧ください。

- 対応装置の検索 / 登録
- ネットワーク初期設定
- 装置リストのインポート / エクスポート
- オートプロテクト機能
- 機能アクセス制限ファイルの設定
- グループの設定
- LDAP サーバーアクセス設定
- 表示オプションの設定

2 Font Management Utility のインストール

2.1 インストール方法

Font Management Utility は以下の手順でインストールします。

インストール手順

- Device Set-Up がインストールされていない場合、Device Set-Up のインストーラーが起動するので、先に Device Set-Up をインストールしてください。
 - インストール時の言語選択画面で、以下の言語を選択した場合は、Font Management Utility は英語表記になります。
中国語（繁体）、中国語（簡体）、韓国語
- 1 Setup.exe をダブルクリックします。
 - 2 画面の指示に従ってインストールを行います。

2.2 アンインストール方法

Font Management Utility をアンインストールする場合は、以下の手順でアンインストールします。

アンインストール手順

- ✓ Font Management Utility がインストールされている状態で、Device Set-Up をアンインストールすると Font Management Utility が使用できなくなりますので、ご注意ください。その場合、Font Management Utility のインストーラーで再インストールすれば、Device Set-Up もインストールされます。
- 1 スタートメニューからコントロール パネルをクリックし、コントロール パネルを開きます。
- 2 プログラムと機能をダブルクリックします。
- 3 インストールされているプログラムのリストから KONICAMINOLTA Font Management Utility を選択し、アンインストールをクリックします。
- 4 プログラム削除の確認画面が表示されたら、はいをクリックします。アンインストールが開始されます。

3 Font Management Utility の使いかた

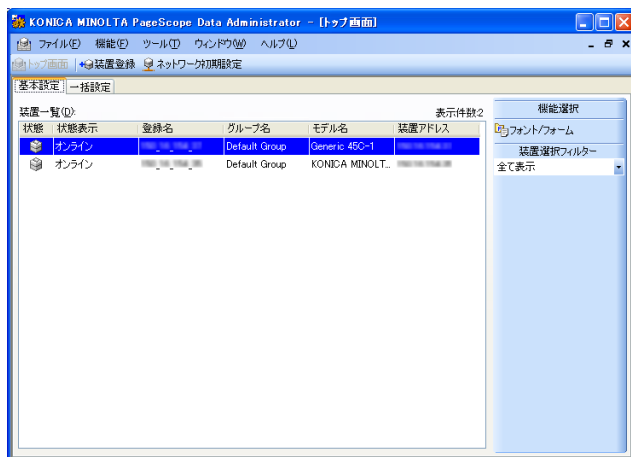
3.1 起動方法

Font Management Utility は以下の手順で起動します。

起動手順

- 1 スタートメニューからすべてのプログラム – KONICA MINOLTA – Font Management Utility – Font Management Utility をクリックします。
 - Font Management Utility のインストール時にショートカットを作成している場合は、デスクトップのショートカットをダブルクリックします。

メイン画面が表示されます。



ワンポイント

初めて起動したときはアプリケーション保護の設定画面が表示されます。アプリケーションの保護の設定については、Device Set-Up ユーザーズガイドをごらんください。

メイン画面の詳細については、Device Set-Up ユーザーズガイドをごらんください。

3.2 終了方法

Font Management Utility は以下の手順で終了します。

終了手順

- 1 ファイルメニューから**終了**をクリックします。

Font Management Utility が終了します。

3.3 装置の登録

Font Management Utility を使用するには、ネットワーク上の対応装置を検索して登録する必要があります。

対応装置の検索 / 登録方法として、以下の方法があります。

- ネットワーク上の装置を検索する方法
- IP アドレスを指定して検索する方法
- 機能アクセス制限ファイルから登録する方法



ワンポイント

対応装置の検索 / 登録方法については、Device Set-Up ユーザーズガイドをごらんください。

3.4 フォント / フォームの追加 / 削除

フォント / フォームの追加 / 削除では、一台の装置に対してフォント、フォームを追加できます。

ここでは、フォントやフォームを追加する手順、削除する手順について説明します。

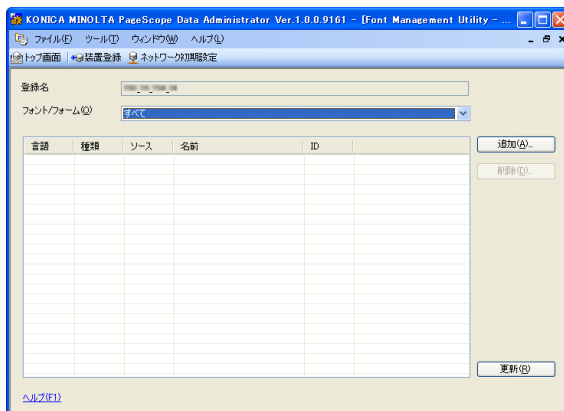


ワンポイント

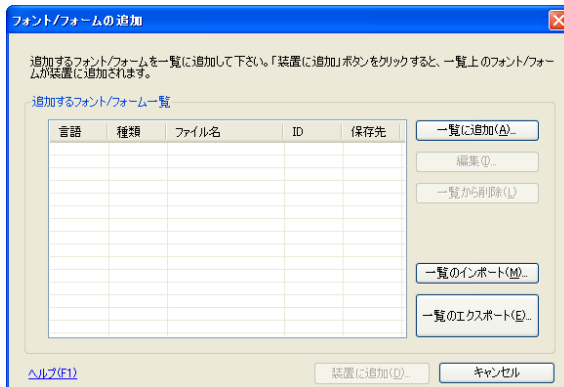
一度に追加できるフォントは、256 フォントまでになります。

追加手順

- 1 Font Management Utility を起動してメイン画面を表示します。
 - メイン画面の表示については、p. 3-1 をご覧ください。
- 2 フォント / フォームを追加したい装置を選択して、機能選択フィールドからフォント / フォームを選択します。
- 3 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力して OK をクリックします。
- 4 追加をクリックします。

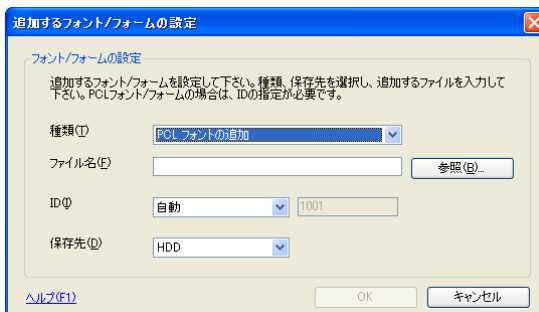


5 一覧に追加をクリックします。



- フォント / フォーム一覧設定ファイルからフォントの一覧を追加する場合は、**一覧のインポート**をクリックします。フォント / フォーム一覧設定ファイルについて詳しくは、「フォント / フォーム一覧設定ファイル」(p. 3-16) をごらんください。

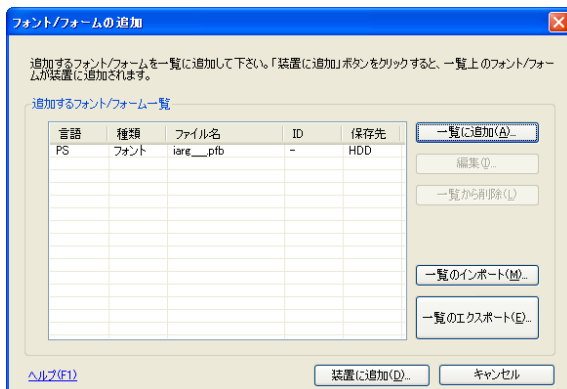
6 各項目を設定し、OK をクリックします。



- 種類：追加するフォント、フォームの種類を選択します。
- ファイル名：追加するフォント、フォームのファイル名を入力します。参照をクリックし、ファイルを指定することもできます。
- ID：追加するフォント、フォームが PCL の場合に ID を設定します。設定は自動または、手動から選択します。
PCL フォントを使用する場合は、ID ではなく番号 # の方で指定して使用する必要があります。フォント番号は、装置のパネルから PCL Font List を出力して確認してください。
- 保存先：フォント、フォームの保存先を HDD、または RAM から選択します。

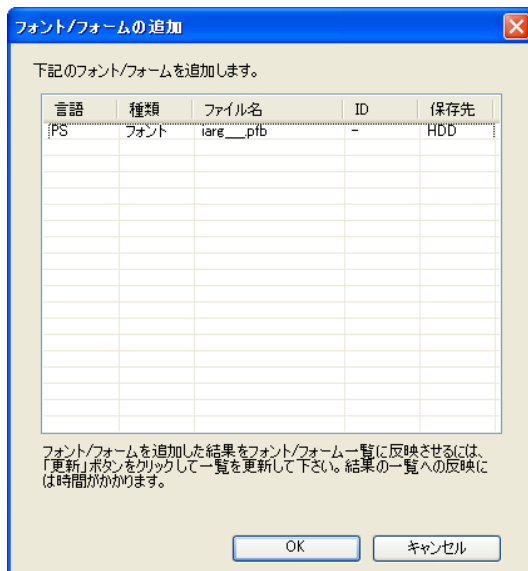
追加するフォント / フォーム一覧にフォント、フォームが追加されます。

7 装置に追加をクリックします。



- 一覧のエクスポートをクリックすると、追加するフォント / フォームの一覧にあるフォント、フォームの設定情報を、ファイルとして保存できます。フォント / フォーム一覧設定ファイルについて詳しくは、「フォント / フォーム一覧設定ファイル」(p. 3-16) をごらんください。
- 装置に OOXML フォントが追加された場合、再起動を促すメッセージが表示されますので装置を再起動してください。

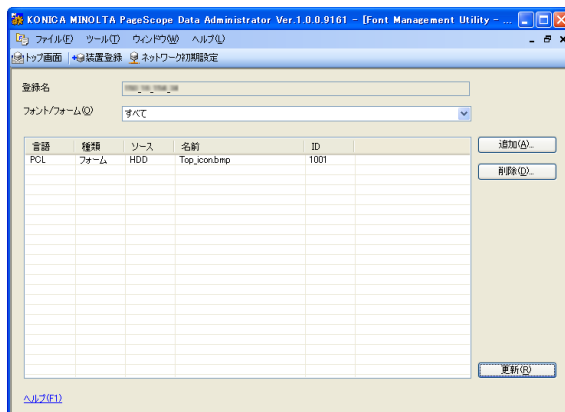
8 OK をクリックします。



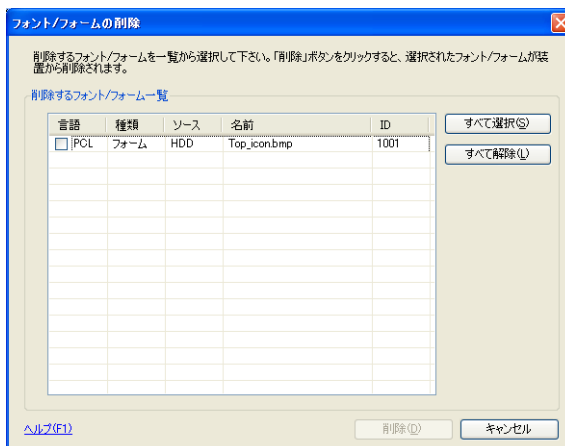
装置にフォント、フォームが追加されます。

削除手順

- 1 Font Management Utility を起動してメイン画面を表示します。
 - メイン画面の表示については、p. 3-1 をご覧ください。
- 2 フォント/フォームを削除したい装置を選択し、機能選択フィールドからフォント/フォームを選択します。
- 3 削除するフォント/フォームを選択して、削除をクリックします。



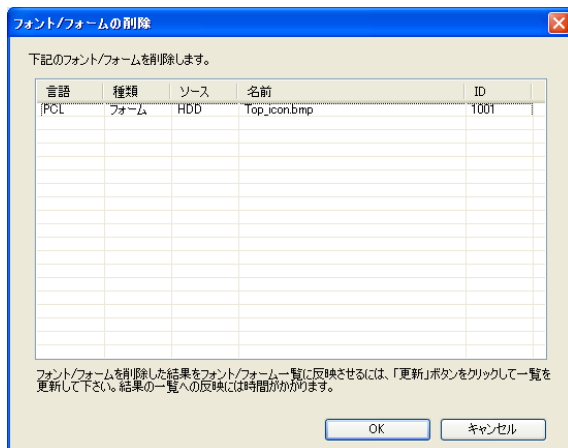
- 4 削除するフォント / フォームにチェックして、削除をクリックします。



- すべてのフォント / フォームを選択する場合は、すべて選択をクリックします。すべてのチェックボックスがチェックされます。

- チェックをすべて解除する場合は、**すべて解除**をクリックします。
- 装置から OOXML フォントが削除された場合、再起動を促すメッセージが表示されますので装置を再起動してください。

5 OK をクリックします。



装置からフォント、フォームが削除されます。



ご注意

RAM に保存されている PostScript フォーム、PostScript フォントは、本ユーティリティから削除することはできません。RAM 内の PostScript フォーム、PostScript フォントを削除する場合は、装置の電源を切ってください。ただし、装置の電源を切った場合は、RAM 内のすべてのフォント、フォームが削除されます。

3.5 フォント / フォームの一括追加モード

一括追加モードでは、複数の装置に対してフォント、フォームを追加します。

ここでは、一括でフォント、フォームを追加する手順について説明します。

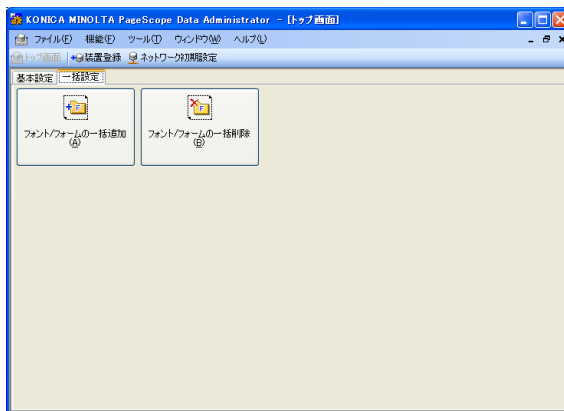


ワンポイント

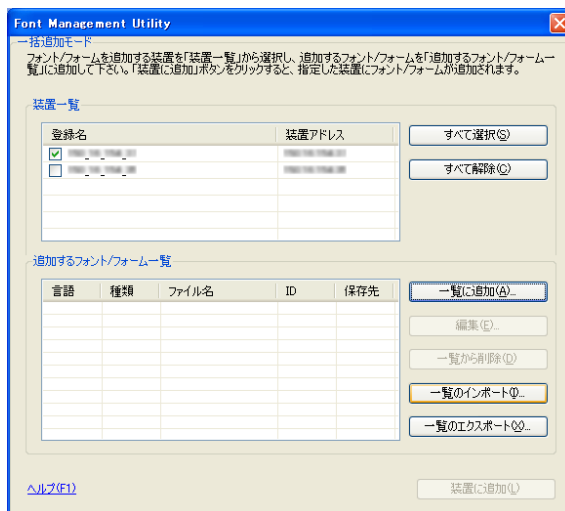
一度に追加できるフォントは、256 フォントまでになります。

一括追加の手順

- 1 Font Management Utility を起動してメイン画面を表示します。
 - メイン画面の表示については、p. 3-1 をご覧ください。
- 2 [一括設定] タブをクリックし、フォント / フォームの一括追加を選択します。



- 3 装置一覧からフォント / フォームを追加したい装置にチェックを入れます。

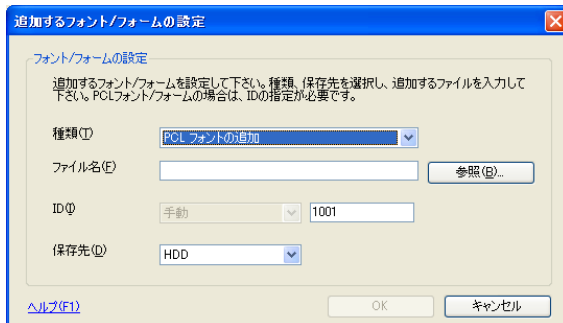


- すべての装置を選択する場合は、すべて選択をクリックします。すべてのチェックボックスがチェックされます。
- チェックをすべて解除する場合は、すべて解除をクリックします。

- 4 一覧に追加をクリックします。

- フォント / フォーム一覧設定ファイルからフォントの一覧を追加する場合は、一覧のインポートをクリックします。フォント / フォーム一覧設定ファイルについて詳しくは、「フォント / フォーム一覧設定ファイル」(p. 3-16) をご覧ください。

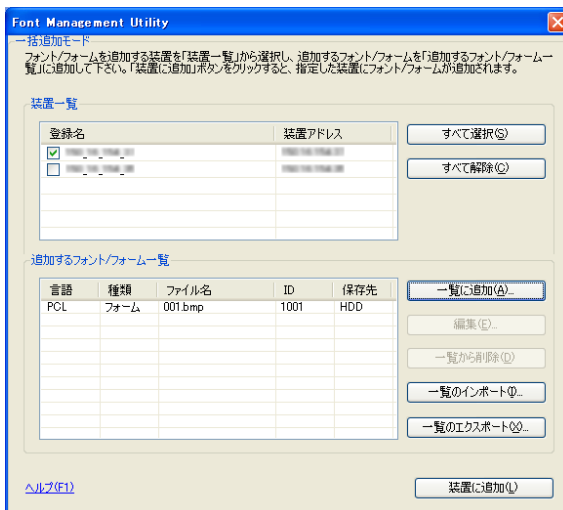
5 各項目を設定し、OK をクリックします。



- 種類：追加するフォント、フォームの種類を選択します。
- ファイル名：追加するフォント、フォームのファイル名を入力します。参照をクリックし、ファイルを指定することもできます。
- ID：一括追加モードの場合は ID の設定は手動設定で固定になっています。
- 保存先：フォント、フォームの保存先を HDD、または RAM から選択します。

追加するフォント / フォーム一覧にフォント、フォームが追加されます。

6 装置に追加をクリックします。



- 一覧のエクスポートをクリックすると、追加するフォント / フォームの一覧にあるフォント、フォームの設定情報を、ファイルとして保存できます。フォント / フォーム一覧設定ファイルについて詳しくは、「フォント / フォーム一覧設定ファイル」(p. 3-16) をご覧ください。
 - 装置に OOXML フォントが追加された場合、再起動を促すメッセージが表示されますので装置を再起動してください。
- 7 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力して **OK** をクリックします。
- 8 **OK** をクリックします。

フォント/フォームの一括追加

下記のフォント/フォームを追加します。
フォント/フォームを追加する装置:

登録名	装置アドレス

追加するフォント/フォーム:

言語	種類	ファイル名	ID	保存先
PCL	フォーム	001.bmp	1001	HDD

OK キャンセル

装置にフォント、フォームが追加されます。

3.6 一括削除モード

一括削除モードでは、複数の装置からフォント、フォームを削除します。

ここでは、一括でフォント、フォームを削除する手順について説明します。

一括削除の手順

- 1 Font Management Utility を起動してメイン画面を表示します。
 - メイン画面の表示については、p. 3-1 をご覧ください。
- 2 [一括設定] タブをクリックし、フォント / フォームの一括削除を選択します。



- 3 装置一覧で、フォント、フォームを削除する装置にチェックをつけます。

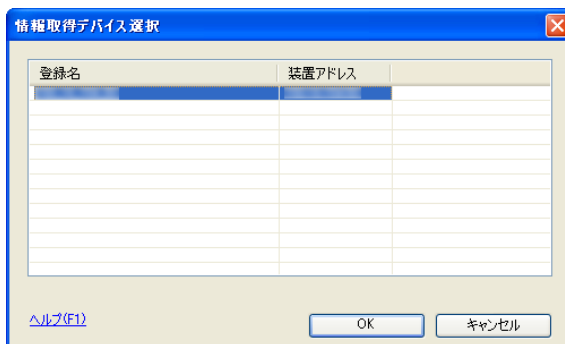


- すべての装置を選択する場合は、**すべて選択**をクリックします。すべてのチェックボックスがチェックされます。
- チェックをすべて解除する場合は、**すべて解除**をクリックします。

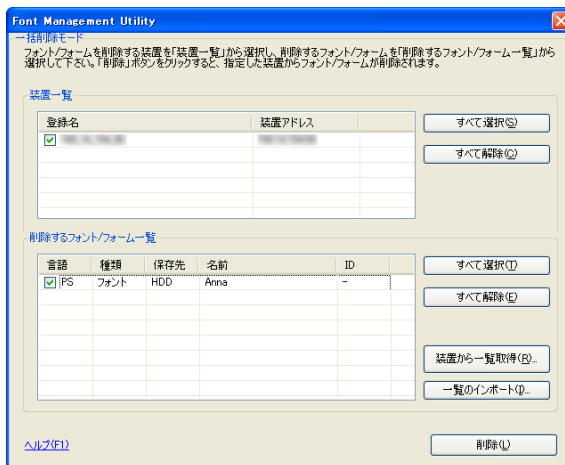
- 4 装置から一覧取得をクリックします。

- フォント / フォーム一覧設定ファイルからフォントの一覧を追加する場合は、**一覧のインポート**をクリックします。フォント / フォーム一覧設定ファイルについて詳しくは、「フォント / フォーム一覧設定ファイル」(p. 3-16) をご覧ください。

- 5 装置を選択して、OK をクリックします。

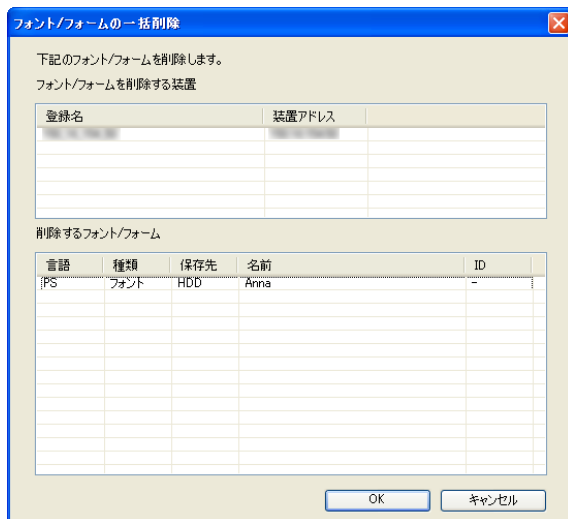


- 6 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力して OK をクリックします。
- 7 削除するフォント/フォーム一覧で、削除するフォント、フォームのチェックボックスをチェックします。



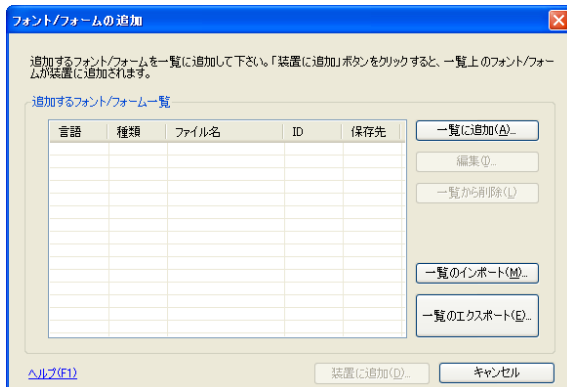
- すべてのフォント、フォームを選択する場合は、すべて選択をクリックします。すべてのチェックボックスがチェックされます。
 - チェックをすべて解除する場合は、すべて解除をクリックします。
- 8 削除をクリックします。
- 装置から OOXML フォントが削除された場合、再起動を促すメッセージが表示されますので装置を再起動してください。

9 OK をクリックします。

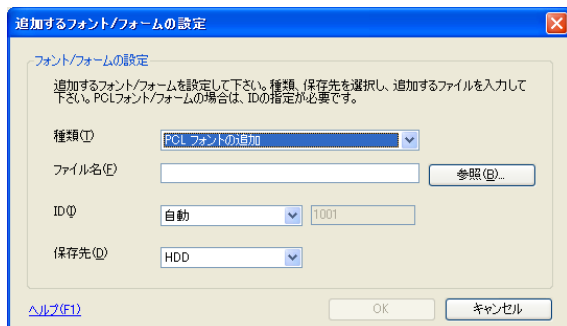


装置からフォント、フォームが削除されます。

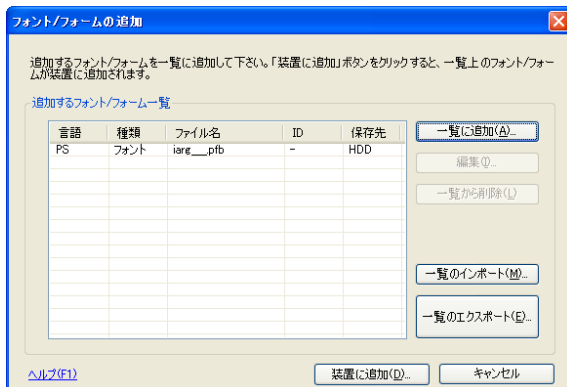
4 一覧に追加をクリックします。



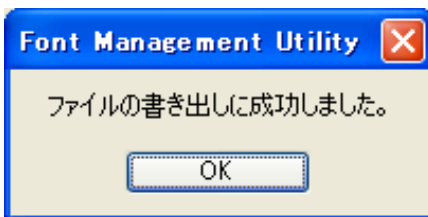
5 各項目を設定し、OK をクリックします。



6 一覧のエクスポートをクリックします。



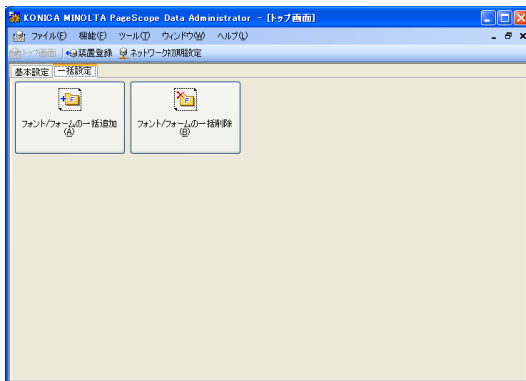
- 7 保存場所、ファイル名を設定し、保存をクリックします。
- 8 OK をクリックします。



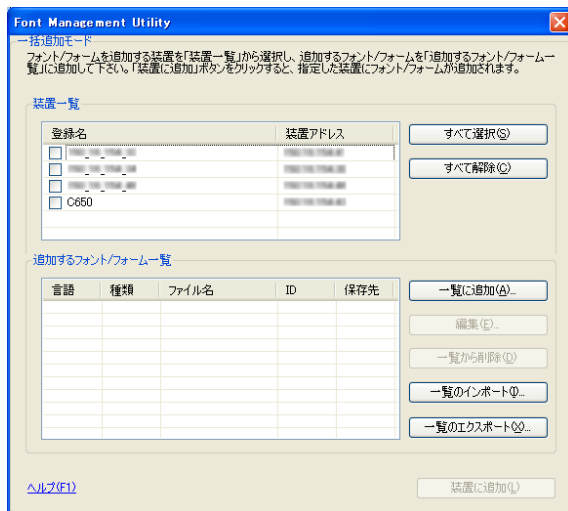
フォント / フォーム一覧設定ファイルが書き出されます。

フォント / フォームのエクスポート（一括追加モードの場合）

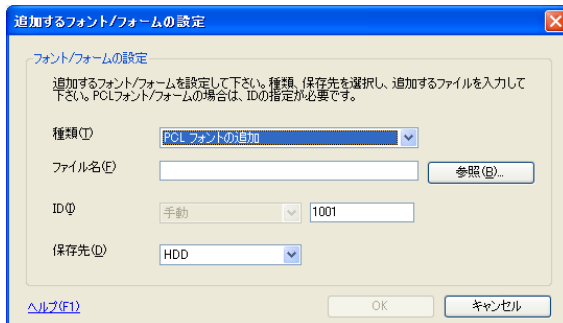
- 1 Font Management Utility を起動してメイン画面を表示します。
 - メイン画面の表示については、p. 3-1 をごらんください。
- 2 「一括設定」タブをクリックし、フォント / フォームの一括追加を選択します。



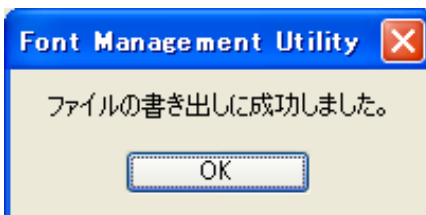
- 3 装置一覧で追加する装置をチェックし、一覧に追加をクリックします。



- 4 各項目を設定し、OK をクリックします。



- 5 一覧のエクスポートをクリックします。
- 6 保存場所、ファイル名を設定し、保存をクリックします。
- 7 OK をクリックします。



フォント / フォーム一覧設定ファイルが書き出されます。

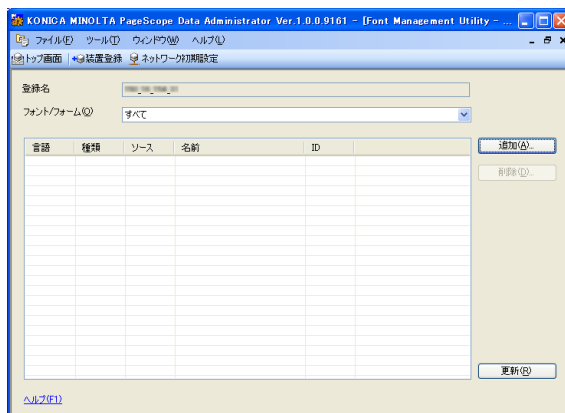
3.8 一覧のファイル保存

フォント、フォームの一覧は、ファイル（CSV ファイル）保存できます。

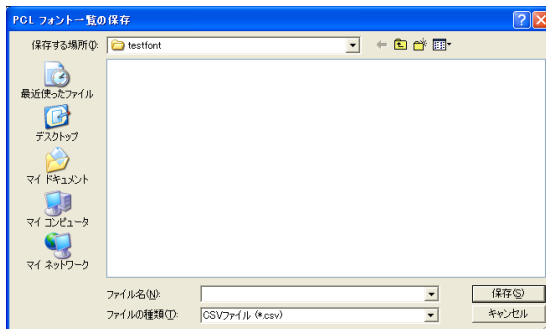
各一覧は、追加 / 削除モードからファイルに保存できます。

保存手順

- 1 Font Management Utility を起動してメイン画面を表示します。
 - メイン画面の表示については、p. 3-1 をご覧ください。
- 2 機能選択フィールドからフォント / フォームを選択します。
- 3 ファイルメニューから一覧の保存を選択し、保存したい一覧をクリックします。



- 4 保存場所、ファイル名を設定し、保存をクリックします。



指定した保存場所にファイルが保存されます。



...

メモ

保存した CSV ファイルは、Microsoft Excel などの表計算ソフトで開いて、閲覧、印刷することができます。



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ株式会社